



小川中だより "燦々"

自主
性
敬愛

No. 39 平成31年3月8日(金)発行 文責：いわき市立小川中学校長 津田 直人

<卒業式予行を実施>

3月4日(月)の5・6校時に、卒業式の予行を行いました。卒業生入場から式次第に沿ってひと通り進めました。今までの練習のおかげで、特に大きな問題なく予行を終えることができました。当日は小春日和のよい天候となることを願っています。



<3年生、皆勤賞・精勤賞を授与>

卒業式予行終了後に、3年生への皆勤賞、精勤賞の表彰を行いました。皆勤賞は3年間欠席・遅刻・早退なしの生徒、精勤賞は今年度欠席・遅刻・早退なしの生徒です。表彰された生徒は次の通りです。

<皆勤賞> 3-1 2名 3-2 6名 <精勤賞> 3-1 9名 3-2 9名

<県立高校Ⅱ期選抜試験を実施>

3月7日(木)、8日(金)の2日間にわたり、県立高校のⅡ期選抜試験が各高校で行われました。小川中学校からは、13の高校に38名が臨みました。卒業を目の前にしながらも、最後まで、勉強に励んできた38名に拍手を贈りたいと思います。

今回の選抜方法で実施されるのは、これが最後となります。来年度からは新しい制度のもとで選抜試験が行われます。

<1・2年生、NRTテストを実施>

3月7日(木)に、1・2年生はNRTテストを行いました。このテストは、民間の出版社が行っている標準学力検査です。特徴は、全国基準に照らして、学習内容がどの程度身についているかを図る検査です。今回、国語・数学・英語・理科・社会の5教科について実施しましたが、出題のレベルは、基本的な学習内容となっています。そのため、正答率60%を超えることが1つの目標です。春休みに入る前に、成績個表が配付されますので、それを春休みの学習に役立ててほしいと思います。

<標語コンクール入賞作品>

2月22日(金)に、青少年育成市民会議小川地区推進協議会主催の平成30年度標語コンクール「自分と人へのメッセージ」の審査会が小川公民館で行われ、今年度の入賞作品と入賞者が発表されました。中学校の入賞者については、3月11日(月)の13:00から、学校(校長室)で表彰式が行われます。入賞者と作品は、次のとおりです。

<あいさつ部門>

最優秀賞	2年生男子	「 あいさつで 笑顔絶えない 小川町 」
優秀賞	1年生男子	「 あいさつで つながる心 たいせつに 」
	2年生女子	「 深めよう 地域の絆 あいさつで 」
	3年生女子	「 あいさつで 広げていこう 地域の輪 」

<いじめ・非行防止部門>

最優秀賞	3年生女子	「 大丈夫? 君の笑顔が 見たいから 」
優秀賞	1年生男子	「 『やめようよ』 勇気を出して ふみだそう 」
	2年生女子	「 勇気の手 さしだすことが 第一歩 」
	3年生男子	「 一人じゃない 君の横には 友がいる 」

<中学生弁論大会記念文集>

第68回社会を明るくする運動の一環で行われた、第49回いわき北地区中学生弁論大会が、昨年の7月3日(火)内郷一中を会場に行われました。その記念文集が学校に届きました。

この弁論大会には、3年の女子が出演し、見事、優秀賞に輝きました。その時に発表した弁論について、掲載します。

演題 「人とのつながり」

「もっと明るい世の中になればいいな、みんなが互いに声をかけ合って、助け合うような世の中になればいいのに。」

なぜそんなことを思ったのか、それには理由があります。あるとき、私は自殺に関するニュースを見ました。私達と同じくらいの年の女の子でした。いじめを苦しんで自殺したというのです。

「何だそれ、何で誰も助けなかったんだ。」私はそう思いました。「たった一人でもその子を気にかけるような子はいなかったのか。」と。

人との接し方次第で生き方は左右されます。時には命すらも。そんな人とのつながりについての私の考えを聞いてください。

今の時点で私ができること、それは人に対して偏見を無くすこと、困っている人へ手を差し伸べることです。しかし、いざ実践するとなるとなかなか難しいと思います。

先ず、人への偏見について考えてみました。私のいとこの子どもについての話をします。その子は二分脊椎という障がい生まれながらに持っています。二分脊椎とは、赤ちゃんの脊髄の形成に異常が生じる障がい「脊髄破裂」とも言われます。それは今の医学では治せず、一生歩くことができません。初めてその子と会い、その事実を聞いたときに、ひどい話ですが、私は自分が五体満足でよかったと思ってしまいました。そして、その子をかわいそうにと思いました。しかし、そんな私の思いとは裏腹に、その子は私を見て、立ち上がろうとさえします。それを見て、「かわいそう」なんて言うのは失礼だと思いました。懸命に頑張る姿を少しでもいいから助けてあげたいと素直に思うようになりました。そこから私の困っている人を助けてあげたいという思いが強くなり、自分にできることは何だろうと考えてみました。悩んでいる人の話を聞いたたり、電車でお年寄りに席を譲ったりすることから始めてみよう。今まであまり意識していなかった、ほんの小さなことからですが、人を助けるようになりました。友達と一緒に席を譲ったときに、笑顔で「ありがとう」と言われ、とてもうれしかったのを覚えています。勇気を持って誰かが手を伸ばさなければ、困ったり悩んだりするような人を助けることはできなくなります。一人でするのが怖いならば、二人で、三人で…。そうやってみんなで行動すれば、見て見ぬふりや偏見はなくなると思いませんか。こうして人とつながっていけば少しでも社会は明るくなります。

私のいとこの子は大切なことをたくさん教えてくれました。これから、残酷な見て見ぬふりという行動が少しでも減ってくれるといいなと思います。見返りを求めず、純粋な優しさで人を助けるような人が増えてほしいです。そのために一人で悩み苦しむ人に、先ずは自分から手を差し伸べていきたいと思っています。それが人とのつながりを強くするための第一歩だから。

<3年生へ贈る言葉>

いよいよ3年生は、来週で卒業です。そのため、3年生に関しては、今回の学校だよりが最終号となります。3年生の卒業を祝すとともに、新たな立場での活躍を祈念して、はなむけの言葉を贈ります。

<3年生の皆さんへ>

3年生の皆さん、来週の13日(水)でいよいよ卒業ですね。正直、今は実感がないと思います。

今週で県立高校Ⅱ期選抜が終わりました。この日に向けて、最後まで勉強に励んできた皆さん、本当にお疲れ様でした。人生には「頑張りどころ」が何度かやってきます。その中の1つが高校受験です。部活動の大会やコンクールも「頑張りどころ」の1つですが、高校受験はひと味違ったと思います。なぜか。それは、勉強はどちらかと言えば避けたいものであるし、結局は自分でやらなければ何も変わらないからだと思えます。この先、同じような「頑張りどころ」に遭遇することがあると思います。その時は、この中学校時代の受験勉強を思い出し、よい意味で生かしてほしいと思います。

中学校3年間は どうでしたか？ 楽しかったこと、嬉しかったこと、悔しかったこと、辛かったことなど、いろいろな経験をしてきたと思います。それらが全部、みなさんの財産です。無駄なことは何一つありません。すべてが自分の経験、生きた証となって、役立つときが必ずあります。これから始まる新しい生活も同じです。例え苦しいことがあっても、それは自分を大きく成長させてくれる糧と思って、勇気を出して立ち向かってください。皆さんの健康、無事故、活躍を願っています。

来週の予定

月 日	曜日	給食	おもな行事
3月11日	月	○	放送朝会
3月12日	火	○	卒業式会場作成、3年生下校13:15
3月13日	水	×	卒業式 ノー部活デー ※昼食なし
3月14日	木	○	県立高校合格発表
3月15日	金	○	県立高校Ⅲ期選抜出願(18日まで)